



2022年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕

2022年9月5日

会社名 太陽毛糸紡績株式会社 株主コミュニティ銘柄
 EDINETコード E00555 URL <https://taiyo-keito.co.jp>
 本社所在地 埼玉県川口市上青木五丁目5番9号
 代表者 代表取締役社長 内山 正治
 問合せ先責任者 取締役管理部長 太田 仁典 TEL (048) 265-2414
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2022年10月期第3四半期の連結業績 (2021年11月1日～2022年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期第3四半期	396	△ 1.4	10	△ 36.4	17	△ 30.1	18	△ 19.1
2021年10月期第3四半期	401	5.0	17	—	24	—	23	—

(注) 包括利益 2022年10月期第3四半期 45百万円 (△17.9%) 2021年10月期第3四半期 55百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2022年10月期第3四半期	5	28	—	—
2021年10月期第3四半期	6	52	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2022年10月期第3四半期	3,449		1,642		47.6	460	90	
2021年10月期	3,398		1,601		47.1	449	64	

(参考) 自己資本 2022年10月期第3四半期 1,642百万円 2021年10月期 1,601百万円

(3) 連結キャッシュ・フロー状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
2022年10月期第3四半期	40		△ 33		△ 18		59	
2021年10月期第3四半期	26		△ 16		△ 25		65	

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
2021年10月期	—	—	—	—	—	—	1	50	1	50
2022年10月期	—	—	—	—	—	—				
2022年10月期(予想)							1	50	1	50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年10月期の連結業績予想（2021年11月1日～2022年10月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	620	33	33	32	8 98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年10月期3Q	3,589,000株	2021年10月期	3,589,000株
② 期末自己株式数	2022年10月期3Q	26,255株	2021年10月期	26,255株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年10月期3Q	3,562,745株	2021年10月期3Q	3,562,805株

4. 2022年10月期第3四半期の個別業績（2021年11月1日～2022年7月31日）

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
2022年10月期第3四半期	362 △ 1.1	16 △ 24.7	21 △ 17.8	25 △ 6.6	7 14
2021年10月期第3四半期	366 7.1	22 —	25 —	27 —	7 64

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年10月期第3四半期	3,469	1,671	48.2	469 14
2021年10月期	3,412	1,624	47.6	456 01

(参考) 自己資本 2022年10月期第3四半期 1,671百万円 2021年10月期 1,624百万円

5. 2022年10月期の個別業績予想（2021年11月1日～2022年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	565	31	31	30	8 42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 今後の見通し	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結株主資本等変動計算書	6
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 四半期財務諸表	10
(1) 四半期貸借対照表	10
(2) 四半期損益計算書	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、内閣府発表の2022年4-6月期国内総生産(GDP)速報値は前期比0.5%増、年率2.2%増となりました。1~3月期実績値の遡及改定により、3四半期連続のプラス成長を示しました。首都圏などで発出されていたまん延防止等重点措置が3月下旬に全面解除されたことで、個人消費や設備投資が伸長し全体を押し上げる結果となりました。実質GDPの実額(542兆円)は新型コロナウイルス流行前の2019年10-12月期を上回ったものの、米国は1年前の21年4-6月期にすでにコロナ前の水準を超えており、わが国の回復の遅れが鮮明となっています。7月以降は世界最悪水準の感染再拡大、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、円安為替の継続、インフレなど多くの景気下振れリスクを抱え、先行き不透明感が強まっております。

繊維業界におきましては、産業資材分野では航空機向けの炭素繊維は原材料価格の高騰で苦戦が続いたほか、自動車向けも中国のロックダウンの影響を受け生産は低調となりました。衣料品分野では外出機会の増加に伴い衣料品店への客足やビジネス衣料品の販売が回復基調にあります。一方で原材料高や人件費の高騰、円安の影響で生産コストの上昇が続いており、事業収益の圧迫が懸念されております。

このような不確実さが顕在化する経営環境のなか、当社グループは広範な情報収集をはかり素早い経営判断のもと、即効性に富む事業施策を展開し事業体質の強化に努めてまいりました。特に需要が不透明な市況が続くなか、各事業分野においては原価低減と効率的な業務経費の運用により、安定した収益体質の確立を重点課題として事業展開してまいりました。その結果、売上高396,247千円(前年同期比1.4%減)となりました。収益面では営業利益10,880千円(前年同期比36.4%減)、経常利益17,320千円(前年同期比30.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益18,800千円(前年同期比19.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末比で50,630千円増加し3,449,289千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末比で14,394千円増加し480,555千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金6,697千円、棚卸資産11,934千円のそれぞれ増加、現金及び預金11,740千円の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末比で36,236千円増加し2,968,733千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価による35,958千円の増加であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比で10,489千円増加し1,807,207千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末比で6,832千円減少し402,921千円となりました。主な要因は、短期借入金30,000千円の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末比で17,321千円増加し1,404,286千円となりました。主な要因は、長期借入金21,387千円の増加であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比で40,141千円増加し1,642,081千円となりました。主な要因は、利益剰余金13,456千円、その他有価証券評価差額金26,685千円のそれぞれ増加であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により得られた資金を投資活動および財務活動で使用した結果11,740千円減少し59,171千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は40,529千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益22,150千円、仕入債務の増加20,944千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は33,345千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出32,574千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は18,070千円となりました。これは主に建設協力金の返還による支出11,798千円などによるものであります。

(4) 今後の見通し

2022年10月期の連結業績予想につきましては、当初の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,911	59,171
受取手形及び売掛金	55,460	62,157
商品及び製品	244,413	241,855
仕掛品	9,193	5,010
原材料及び貯蔵品	76,079	94,754
その他	10,181	17,684
貸倒引当金	△ 77	△ 77
流動資産合計	466,161	480,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	405,210	383,202
機械装置及び運搬具(純額)	18,433	40,655
土地	2,293,314	2,293,314
建設仮勘定	—	2,060
リース資産(純額)	2,945	2,228
その他(純額)	2,699	2,682
有形固定資産合計	2,722,604	2,724,144
無形固定資産		
ソフトウェア	301	146
電話加入権	1,124	1,124
無形固定資産合計	1,425	1,271
投資その他の資産		
投資有価証券	140,917	176,875
保険積立金	61,721	62,491
繰延税金資産	836	41
その他	4,990	3,909
投資その他の資産合計	208,466	243,318
固定資産合計	2,932,496	2,968,733
資産合計	3,398,658	3,449,289

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,514	30,459
短期借入金	60,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	269,107	277,426
1年内返還予定の受入建設協力金	15,730	15,730
リース債務	1,063	1,084
未払金	23,346	22,647
未払費用	57	43
未払法人税等	655	491
未払消費税等	8,208	1,911
その他	22,071	23,127
流動負債合計	409,754	402,921
固定負債		
長期借入金	558,909	580,296
受入建設協力金	102,659	90,861
リース債務	2,308	1,492
繰延税金負債	15,922	27,258
再評価に係る繰延税金負債	546,311	546,311
退職給付に係る負債	10,998	8,223
長期預り敷金保証金	149,854	149,843
固定負債合計	1,386,964	1,404,286
負債合計	1,796,718	1,807,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	322,741	322,741
利益剰余金	67,516	80,973
自己株式	△ 1,396	△ 1,396
株主資本合計	488,861	502,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,833	83,518
土地再評価差額金	1,056,245	1,056,245
その他の包括利益累計額合計	1,113,078	1,139,763
純資産合計	1,601,939	1,642,081
負債純資産合計	3,398,658	3,449,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)
売上高	401,937	396,247
売上原価	261,446	257,225
売上総利益	140,491	139,021
販売費及び一般管理費	123,378	128,140
営業利益	17,112	10,880
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5,489	8,391
助成金収入	6,077	2,245
その他	786	718
営業外収益合計	12,354	11,355
営業外費用		
支払利息	3,965	3,665
その他	709	1,250
営業外費用合計	4,674	4,916
経常利益	24,792	17,320
特別利益		
固定資産税減免益	1,702	486
雇用調整助成金	13,856	4,402
国庫補助金	—	7,200
特別利益合計	15,559	12,089
特別損失		
臨時休業等損失	17,658	7,259
特別損失合計	17,658	7,259
税金等調整前四半期純利益	22,693	22,150
法人税、住民税及び事業税	491	491
法人税等調整額	△ 1,028	2,858
法人税等合計	△ 537	3,349
四半期純利益	23,230	18,800
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,230	18,800

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)
四半期純利益	23,230	18,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,156	26,685
その他の包括利益合計	32,156	26,685
四半期包括利益	55,387	45,485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,387	45,485

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2020年11月1日 至2021年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	322,741	44,078	△1,360	465,459
当四半期変動額					
剰余金の配当	—	—	△ 3,563	—	△3,563
親会社株主に帰属する 四半期純利益	—	—	23,230	—	23,230
自己株式の取得	—	—	—	△36	△36
株主資本以外の項目の 当四半期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当四半期変動額合計	—	—	19,667	△36	19,631
当四半期末残高	100,000	322,741	63,746	△1,396	485,091

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	20,665	1,056,245	1,076,911	1,542,370
当四半期変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△3,563
親会社株主に帰属する 四半期純利益	—	—	—	23,230
自己株式の取得	—	—	—	△36
株主資本以外の項目の 当四半期変動額(純額)	32,156	—	32,156	32,156
当四半期変動額合計	32,156	—	32,156	51,788
当四半期末残高	52,822	1,056,245	1,109,067	1,594,158

当第3四半期連結累計期間(自2021年11月1日 至2022年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	322,741	67,516	△ 1,396	488,861
当四半期変動額					
剰余金の配当	—	—	△ 5,344	—	△ 5,344
親会社株主に帰属する 四半期純利益	—	—	18,800	—	18,800
自己株式の取得	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 当四半期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当四半期変動額合計	—	—	13,456	—	13,456
当四半期末残高	100,000	322,741	80,973	△1,396	502,318

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	56,833	1,056,245	1,113,078	1,601,939
当四半期変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△ 5,344
親会社株主に帰属する 四半期純利益	—	—	—	18,800
自己株式の取得	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 当四半期変動額(純額)	26,685	—	26,685	26,685
当四半期変動額合計	26,685	—	26,685	40,141
当四半期末残高	83,518	1,056,245	1,139,763	1,642,081

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,693	22,150
減価償却費	31,783	31,189
受取利息及び受取配当金	△ 5,490	△ 8,391
支払利息	3,965	3,665
為替差損益(△は益)	△ 32	854
固定資産減免益	△ 1,702	△ 486
雇用調整助成金	△ 13,856	△ 4,402
臨時休業等損失	17,658	7,259
国庫補助金	—	△ 7,200
売上債権の増減額(△は増加)	△ 5,490	△ 6,697
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 8,164	△ 11,934
仕入債務の増減額(△は減少)	2,449	20,944
未払消費税等の増減額(△は減少)	△ 6,711	△ 6,296
その他	△ 8,681	△ 8,750
小計	28,420	31,905
利息及び配当金の受取額	5,490	8,391
利息の支払額	△ 3,951	△ 3,455
雇用調整助成金の受取額	15,349	4,402
臨時休業等による支払額	△ 18,331	△ 7,259
補助金の受取額	—	7,200
法人税等の支払額	△ 655	△ 655
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,321	40,529
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 15,915	△ 32,574
無形固定資産の取得による支出	△ 218	—
保険積立金の積立による支出	△ 770	△ 770
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,903	△ 33,345
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	30,000	△ 30,000
長期借入れによる収入	160,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△ 199,493	△ 220,294
建設協力金の返還による支出	△ 11,798	△ 11,798
リース債務の返済による支出	△ 774	△ 795
配当金の支払額	△ 3,455	△ 5,183
自己株式の取得による支出	△ 36	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 25,557	△ 18,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	△ 854
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 16,106	△ 11,740
現金及び現金同等物の期首残高	81,843	70,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	65,737	59,171

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用等)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、利益剰余金の当該期首残高への影響はありません。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期財務諸表計上額
	繊維事業	賃貸事業	物流事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	238,925	146,297	16,714	401,937	—	401,937
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,500	13,985	11,957	30,442	△ 30,442	—
計	243,425	160,283	28,671	432,380	△ 30,442	401,937
セグメント利益又は損失(△)	△ 2,687	80,504	△ 1,031	76,784	△ 59,672	17,112

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期財務諸表計上額
	繊維事業	賃貸事業	物流事業	計		
主要な財又はサービス						
原糸	167,145	—	—	167,145	—	167,145
アパレル衣料品	37,439	—	—	37,439	—	37,439
検品・加工	—	—	10,219	10,219	—	10,219
その他	32,194	—	—	32,194	—	32,194
顧客との契約から生じる収益	236,779	—	10,219	246,998	—	246,998
その他の収益(注)	—	149,248	—	149,248	—	149,248
外部顧客への売上高	236,779	149,248	10,219	396,247	—	396,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,100	8,366	6,575	20,041	△ 20,041	—
計	241,879	157,614	16,794	416,289	△ 20,041	396,247
セグメント利益又は損失(△)	△ 168	77,216	△ 427	76,620	△ 65,739	10,880

(注) その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく所有不動産の賃貸収入等が含まれております。

報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

なお、当該変更による報告セグメントごとの売上高および利益または損失に影響はありません。

III 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	432,380	416,289
セグメント間取引消去	△ 30,442	△ 20,041
四半期連結損益計算書の売上高	401,937	396,247

(単位:千円)

利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	76,784	76,620
セグメント間取引消去	—	—
全社費用(注)	△ 59,672	△ 65,739
四半期連結損益計算書の営業利益	17,112	10,880

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,437	52,044
受取手形及び売掛金	52,651	63,097
商品及び製品	244,413	241,855
仕掛品	9,193	5,010
原材料及び貯蔵品	76,079	94,754
その他	7,835	16,622
流動資産合計	453,609	473,383
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	372,805	353,806
構築物(純額)	32,404	29,395
機械及び装置(純額)	18,433	40,655
工具・器具及び備品(純額)	2,092	2,445
土地	2,293,314	2,293,314
建設仮勘定	—	2,060
その他(純額)	607	236
有形固定資産合計	2,719,659	2,721,915
無形固定資産		
ソフトウェア	301	146
電話加入権	1,124	1,124
無形固定資産合計	1,425	1,271
投資その他の資産		
投資有価証券	140,917	176,875
関係会社株式	30,000	30,000
保険積立金	61,721	62,491
その他	4,990	3,909
投資その他の資産合計	237,630	273,276
固定資産合計	2,958,714	2,996,463
資産合計	3,412,323	3,469,846

	前事業年度 (2021年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,726	35,814
短期借入金	60,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	269,107	277,426
1年内返還予定の受入建設協力金	15,730	15,730
未払金	17,927	15,481
未払費用	57	43
未払法人税等	290	217
未払消費税等	7,206	—
その他	19,967	20,920
流動負債合計	403,014	395,634
固定負債		
長期借入金	558,909	580,296
受入建設協力金	102,659	90,861
繰延税金負債	15,922	27,258
再評価に係る繰延税金負債	546,311	546,311
退職給付引当金	10,998	8,223
長期預り敷金保証金	149,854	149,843
固定負債合計	1,384,655	1,402,793
負債合計	1,787,669	1,798,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	122,741	122,741
その他資本剰余金	200,000	200,000
資本剰余金合計	322,741	322,741
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	—	4,519
繰越利益剰余金	90,231	105,790
利益剰余金合計	90,231	110,310
自己株式	△ 1,396	△ 1,396
株主資本合計	511,575	531,654
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	56,833	83,518
土地再評価差額金	1,056,245	1,056,245
評価・換算差額等合計	1,113,078	1,139,763
純資産合計	1,624,654	1,671,418
負債純資産合計	3,412,323	3,469,846

(2) 四半期損益計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)
売上高	366,077	362,200
売上原価	211,323	210,386
売上総利益	154,754	151,813
販売費及び一般管理費	132,716	135,222
営業利益	22,038	16,591
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5,489	8,391
助成金収入	2,374	373
その他	437	717
営業外収益合計	8,301	9,481
営業外費用		
支払利息	3,884	3,605
その他	657	1,250
営業外費用合計	4,541	4,855
経常利益	25,798	21,217
特別利益		
固定資産税減免益	1,702	486
雇用調整助成金	2,584	1,382
国庫補助金	—	7,200
特別利益合計	4,287	9,068
特別損失		
臨時休業等損失	4,080	2,582
特別損失合計	4,080	2,582
税引前四半期純利益	26,004	27,703
法人税、住民税及び事業税	217	217
法人税等調整額	△ 1,431	2,062
法人税等合計	△ 1,214	2,280
四半期純利益	27,218	25,422